

学校法人ABK学館 ABK学館日本語学校  
日本語教育短期研修会

内 容：具体的な教科書・教材の基礎的な教え方を学ぶ  
短い模擬授業も行う

使用予定教科書・教材（購入は不要）：

『大地』（スリーエーネットワーク）

『1日15分の漢字練習』（アルク）、『漢字たまご』（アルク）

『TRY!』（アスク出版）

『中級を学ぼう』（スリーエーネットワーク）

『話す・書くにつながる！日本語読解』（アルク）

対 象： 以下の1～4)のいずれかで、日本語教育経験3年未満（経験ゼロを含む）の方  
3回（5コマ）通して参加できる予定の方

1) 420時間日本語教師養成講座修了または修了見込みの方

2) 日本語教育能力検定試験合格または結果待ちの方

3) 大学の日本語教員養成課程修了または修了見込みの方

4) 1～3)に該当しない方で、面談の上、参加を認められた方

日 程：日曜コース 3月10日 9時30分～12時

3月17日 9時30分～12時、14時～16時30分

3月24日 9時30分～12時、14時～16時30分

講 師：亀山稔史（ABK学館日本語学校 教務主任）、他

会 場：ABK学館日本語学校（都営地下鉄三田線千石駅A1出口から3分）

定 員：各コース6名（2名以上で開講。超過した場合は、応募内容による選考）

受講料：12,000円（消費税を含む）

締切り：2月26日（火）（席に余裕がある場合は3月7日まで追加募集）

申込み・問合せ：

Eメール（[info@abk.ac.jp](mailto:info@abk.ac.jp)）またはファクス（03-6912-0757）で、担当の亀山まで、  
件名「日本語教育短期研修会」、（1）お名前、（2）連絡先、（3）簡単な自己紹介、  
（4）参加動機（400～600字程度）をお送りください。

以上

## 日本語教育短期研修会 参加者からの「おすすめ文」

単なる座学ではなく、その回に取り上げるテキストを使って私たちが短い模擬授業を行い、それに対して先生からコメントをいただく形で進む講座です。また、先生が、実際に学生に話しかける口調でデモンストレーションをしてくださったりもするので、授業の様子がイメージしやすいです。

さらに、一緒に参加しているメンバーの模擬授業も、自分には思いつかない工夫がしてあったりして参考になります。実際、養成講座で講義を1時間しか受けなかった漢字については、仲間から得たアイデアを自分の授業に取り入れました。

現在、別のテキストを使用しているも、授業の進め方に不安を感じていたり、改善したいと思っている方にはお勧めだと思います。(Aさん)

初級から中級、読解までを学ぶので、初めての方はもちろん初級しか教えたことがない方にもおすすめです。ペア、グループワークのやり方、そして、中級の、初級とは違う授業の運び方なども本当に勉強になりました。

今後いろいろな教材を使う際にも応用できる、教材分析力も身につきます。(Bさん)

今回の研修会では、まず自分で5分程度の授業を考えて行い、その後、先生からアドバイスをいただき、受講生と話し合うことで、どのように日本語の授業をしたらよいのか、板書の仕方・学習者のレベルによる差異等々、具体的に分かりました。

また、執筆者の意図をくんだテキストの効果的な使い方を知ることで、漢字・文法・読解の個々の教え方について、理解を深めることができました。

少人数なので、疑問に思ったことをすぐに聞くことができ、先生に的確に答えていただけたこともよかったです。

一番心に残っていることは、先生がここはこんなふうに教えているという実例を示してくださったことです。ベテランの先生の実際の話し方、教え方はとても勉強になりました。

日本語をどのように教えたらよいのだろうか？ 日々迷いながら授業をしている方には、とても得ることの多い研修会だと思います。(Cさん)

初級・漢字の導入・中級など、様々な学習者のレベルの教科書を体験させていただきました。

私以外の参加者の方々は実際に授業を持たれている先生方だったので、模擬授業を見させていただき、とても参考になりました。

授業をしたことのない方にもとても参考になる研修だと思います。

また、日本語の教科書の使い方を教えていただいたことが一番得るものだったと思います。

(Dさん)

中級レベルの教材が多かったので、養成校を卒業し、初級から入り、学生と一緒に中級に上がって教え方に悩んでいらっしゃる先生に特にお勧めです。

ともすると経験の少ない教師は、授業準備に必死になるあまり近視眼的になりがちですが、この研修では、ほかの研修生の方の授業を先生が褒められるのを聞くことにより、自分の授業を振り返り修正することが出来ます。

さらに、著者の意図を読みこみ教材の特徴を知ることが出来るので、現在ボランティアなどで教材研究をし、教科書を選ぶ必要がある先生にも助け手になる研修だと思います。（Eさん）

まず、少人数制の5分間の全員のプレゼン授業システムがよいです。

最後の、先生のまとめの授業、昨日も感動でした。5分間のプレゼンにとらわれて、その課の大きな授業の流れの把握を怠っていました。

3回目の、トップダウンによる読解も実に楽しかったです。学習者に、興味を促し、活性化させ、気づかせる先生の授業は最高です。

最後に、6人の方がそれぞれに個性があり、先生がうまく引き出してくださっている。小さな変化を誉めてくださるのが、心の支えとなります。

他では体験出来ない研修会です。（Fさん）

研修会では、毎回参加者の模擬授業が行われ、その後、それについてそれぞれ検討がなされます。そのフィードバックを踏まえ、次の回で各自改善した模擬授業が進められるようになります。

私はここで、学習者の自発的な会話を促すことがいかに重要であるか、また学習者の自然に出てくる言葉のシチュエーションの設定について、「ここを教えるのだ」と限定してしまうのではなく、授業の中でいかに工夫していく必要があるかという点を今回学びました。（Gさん）

他の5人の先生方の模擬授業や、先生の模範の授業を見ることが出来るのは大変魅力です。

毎回の模擬授業は、5~10分くらいのもので言えども準備が大変ですが、模擬授業後に問題点を指摘していただけるので勉強になります。

普段、指導されることもなく不安なまま授業されている先生方へお勧めします。（Hさん）

今回一番勉強になったことは、使うテキストをきちんと知る！ということです。

日々の教案作成に追われ、自分の担当するところだけを順番通りにこなすことに必死になっていました。

著者の考え・取り上げる内容の意味・テキストの使い方。これからは、きちんとテキストは端から端まで見ようと思っています。

まさに私と同じような方にお勧めします。（Iさん）

各教材の実践的な使い方を知ることができました。

毎回の1人5分間の模擬授業では、メンバーのどの先生の授業の内容も濃いものを感じられましたが、その後のFBには、今後必要であると思われるアドバイスがたくさん盛り込まれており、次の回の模擬授業ではどの先生にも修正・改善が感じられました。

毎回のご指導、先生自らの模擬授業には、学生が楽しく、効果的に参加できる授業とはこれだと思わせる技術や工夫がたくさんありました。

初級、中級問わず、実践的な授業を知りたい、改善したいと思う方はぜひ体験してみてください。

（Jさん）

この短期研修では学ぶことが多すぎて書ききれませんが、あえて一つ取り上げます。

学生の立場になって講師の先生の授業を受けると、学生をひとりひとり見てくださる安心感、これはダメだと否定しない、確実に受け止めてくださるという安心感がいかに大切かわかります。楽しい授業の引き出しを増やしたいと思って受講しましたが、それ以前に安心感がなければどんなに楽しい仕掛けをしても学生は発言できないことがわかりました。そしてそんな先生のもとで学ぶと、クラスにも同様の和やかで懐深い学び合う雰囲気生まれます。

私と同様、明日の授業どうしよう！ということに追われている方、この研修でぐぐっと視野をひろげませんか。（Kさん）